

サツマイモ茎根腐細菌病に注意

(令和6年5月作成)

近年、基腐病以外にも、茎根腐細菌病など細菌性病害の発生が多くなっています。

R6年度では、5月上旬より管内数カ所で茎根腐細菌病が確認されています。発病すると枯死し、塊根も腐敗するなど被害が大きいため、以下の症状に注意し、防除対策を実施しましょう。



症状：葉は急速に萎れ、茎は黒変し、軟化する。抜き取ると根や塊根が腐敗している。

茎根腐細菌病について

- ・茎根腐細菌病は、研究事例が少なく、詳しい発生生態は分かっていません。
- ・苗伝染するという報告があるため、健全種芋の確保は必須です。
- ・また、周囲の株に伝染する恐れがあるため、発病株は抜き取ります。
- ・なお、本病に登録のある農薬はありません。
- ・基腐病やつる割病に効果のある薬剤のほとんどは効果がありませんが、基腐病を対象に銅剤を散布することで、茎根腐細菌病に対しても予防効果が期待できます。

防除対策について

【種芋採取圃】

- ・茎根腐細菌病が発生していない圃場から採種しましょう。

【育苗圃】

- ・基腐病対策も兼ねて育苗圃場の土壌消毒を実施しましょう。
- ・健全種芋を伏せ込みましょう。
- ・基腐病の予防も兼ねて銅剤（裏面下参照）を散布しましょう。
- ・発病株を見つけたら、種芋ごと圃場外に持ち出した後、基腐病の予防も兼ねて銅剤を散布しましょう。

【本圃】

- ・健全苗を定植しましょう。
- ・基腐病の予防も兼ねて銅剤を散布しましょう。
- ・発病株を見つけたら、抜き取り、圃場外に持ち出した後、基腐病の予防も兼ねて銅剤を散布しましょう。



細菌病は傷口から感染します。つる割病で茎が裂けると感染リスクが高まるため、つる割病の予防にも努めましょう。

持ち込まない、増やさない、残さない対策を徹底しましょう！

農薬は必ずラベルの登録内容を確認して適正に使用しましょう。

疑わしい症状や不明な点がある場合は、下記にご連絡ください。

J A 都城 営農部 農産課 ☎0986-38-4786
園芸課 ☎0986-38-6691
北諸県農業改良普及センター ☎0986-38-1554

本圃における防除計画

(令和6年5月作成)

- 発病が激しい状態での散布では、発病抑制効果がありません。また、後半の作型になるほど被害が大きくなります。

5月以降植え付けの場合、**定植4週目(6月中旬を目安)の防除からスタート、その後は、6～8週間目(7月中旬～下旬を目安)のスケジュール散布**を実施しましょう。昨年は、5月12日に本圃での発生が確認されています。

- 無人航空機での「アミスター20フロアブル」「トリフミン水和剤」散布を民間企業などで受付しています。防除作業が困難な方は、作業委託を検討し、早めの申し込みをお願いします。

- 4月植え付けほ場は、定期的に見回りをし、発病株が見られたら防除を行います。

＜体系防除の前提条件＞ **適正な苗消毒および本圃の排水対策を実施していること**

生育ステージ				
発病状況	発病株散見 苗消毒で取りこぼした株の発病	発病株の増加 前作の土壌残渣由来の発病が始まる	二次伝染による病気の拡大 病原菌の拡散	病勢進展 地上部の一部が枯死
防除方法・薬剤	苗消毒効果 (定植5週目まで) ブームスプレーヤー 動噴での散布	1回目 植付け5週間後 フロンサイドSC	2回目 1回目散布の2週間後 フロンサイドSC	3回目 台風・長雨直前 トリフミン水和剤
	ドローンでの散布	植付け5週間後 トリフミン水和剤	1回目散布の2週間後 アミスター20フロアブル	台風・長雨直前 トリフミン水和剤

＜サツマイモ基腐病登録薬剤一覧（茎葉散布）＞

	薬剤名	10aあたり使用量	倍率	使用回数・使用時期
1	アミスター20フロアブル	100～300L	2000倍	3回以内・収穫14日前まで
		無人航空機散布 1.6L	12～32倍	
2	トリフミン水和剤	100～300L	2000～3000倍	2回以内・収穫前日まで
		無人航空機散布 0.8～1.6L	16倍	
3	石原フロンサイドSC	100～300L	1000倍	2回以内・収穫30日前まで
4	ジーファイン水和剤（銅剤）	200～300L	1000倍	制限なし・収穫前日まで
5	Zボルドー（銅剤）	100～300L	500倍	制限なし
6	ICボルドー66D（銅剤）	100～300L	50倍	制限なし
7	クプロシールド（銅剤）	100～300L	1000倍	制限なし
		無人航空機散布 1.6L	16倍	
		無人航空機散布 3.2L	32倍	